

活動目標 すこやかに育て いわてっ子

PTAいわて

「心はひとつ」地域と共にある日頃市小学校
あいさつ日本一・元気で素直なひころいっ子!



地域の皆さんと「田植え体験」



運動会「伝承芸能・甲子剣舞」



家庭教育学級「親子でストレッチ」



PTA・地域防犯協会の皆さんと「挨拶運動」

大船渡市立日頃市小学校 PTA

No.177

令和6年3月1日発行

発行

一般社団法人岩手県PTA連合会
盛岡市みたけ三丁目38-20

☎019-641-6444

E-Mail: pta@iwate-pta.or.jp

URL: http://www.iwate-pta.or.jp

印刷

山口北州印刷(株)
盛岡市青山四丁目10-5

☎019-641-0585

本校の学区は、北上山地に属する五葉山の麓にあり、鷹生川と盛川が流れる豊かな自然に囲まれています。

本校は、児童会・家庭・地域が一体となってあいさつ日本一の学校をめざしており、令和6年度は創立150周年を迎えます。また、「命、ふるさと」を大事にする復興教育・防災教育の充実、地域の方と行う農業体験・郷土料理学習・伝承活動、保護者の方と行う環境整備・親子行事・家庭教育学級等、温かな地域・保護者の方々の「心はひとつ」の思いが脈々と続いている、地域と共にある学校です。
(事務局 村上 優子)

主な内容

- ・県PTA連年次表彰式 2～3
- ・県PTA研究大会 宮古大会 4
- ・東北ブロックPTA研究大会 5～6
- ・日本PTA研究大会 7
- ・全国表彰PTA紹介 8
- ・情報提供 9
- ・特色あるPTA「北から南から」 10
- ・市町村PTA連合会紹介 11
- ・お知らせ 12

受賞者の皆様 おめでとうございませう

令和5年度岩手県PTA連合会年次表彰式



山下会長の主催者挨拶

令和5年12月3日(日)、令和5年度年次表彰式を、ホテルメトロポリタン盛岡を会場に開催しました。

受賞された皆様は、個人・団体を合わせてのべ123です。これまで子どもたちの健やかな成長のために、工夫を凝らしながら様々な活動をしていただきましたことに、改めて敬意と感謝を申し上げます。また、広報コンクール、三行詩コンクールの入賞の皆様にも心よりお祝いを申し上げます。

併せて、日本PTA全国協議会創立75周年の特別表彰の伝達も行いました。受賞された皆様は次のとおりです。(順不同敬称略)

日本PTA全国協議会 75周年特別表彰(14名)

田口昭隆、岩館智子、玉館誠、関 潤、高木正基、壽松木亨、浦田 学、藤岡大樹、松田恵市、小松順一、樋下照男、菊池敏宏、佐藤康之、中村庄藏

年次表彰感謝状(6名)

岩館智子、川又康主、星野賢志郎、菅原 淳、鈴木 繁、菊池敏宏

年次表彰団体の部(25PTA)

大川目中PTA、林郷小PTA、晴山小PTA、一戸中PTA、大更小PTA、雫石小PTA、川口中PTA、紫波第一中PTA、本宮小PTA、飯岡小PTA、仁王小PTA、上田中PTA、南城小PTA、更木小PTA、胆沢愛宕小PTA、江刺第一中PTA、金ヶ崎・第一小PTA、大東中PTA、藤沢小父母と教職員



団体の部代表 上田中PTA 高村光輝会長
個人の部代表 齊藤 豊・前久慈市P連会長

年次表彰個人の部(47名)

の会、大船渡中PTA、横田小PTA、唐丹小中PTA、千徳小PTA、船越小PTA、岩泉小PTA

齊藤 豊、岩崎弘子、藏谷幸輔、野崎芳宏、阿部 歩、田名部誠、田中勝也、西山広美、井口幸太、岩崎 晋、昆野善孝、星野賢志郎、横澤 毅、藤田健一郎、南館 理、齊藤匡俊、桐田伸裕、千田 慶、福田育英、佐藤大介、平賀裕貴、阿部貴弘、阿部雅洋、盾石 拓、高橋優介、小田島規之、菊地栄志、佐藤 岳、菅



広報コンクール 最優秀賞 遠野・土淵小 PTA 北川祥樹会長
下小路中 PTA 佐藤章会長

**広報コンクール
入賞 PTA (18 団体)**

- 原 淳、千田和俊、添田 宏
菅野博貴、佐藤孝泰、小野寺
信介、浅野裕美、渋谷真之、
金野貴博、小西太一郎、佐々
木学、佐々木圭一、鈴木 繁、
佐々木康貴、松本憲幸、木戸
脇大輔、昆 尚人、三浦 泉、
佐々木光

- 【小学校の部】**
◇最優秀賞
土淵小 PTA (遠野)
◇優秀賞



三行詩コンクール 小学生の部・最優秀賞 高橋杏珠さん

【中学校の部】

- 生出小 PTA
遠野小 PTA
◇優良賞
城南小 PTA
本宮小 PTA
飯岡小 PTA
◇奨励賞
仁王小 PTA
中野小 PTA
山目小 PTA
遠野北小 PTA

- ◇最優秀賞
下小路中 PTA
◇優秀賞

**三行詩コンクール
入賞者 (27名)**

- 見前中 PTA
◇優良賞
泷民中 PTA
遠野東中 PTA
◇奨励賞
下橋中 PTA
大宮中 PTA
乙部中 PTA
矢巾北中 PTA

- 【小学生の部】**
◇最優秀賞
高橋杏珠 (笠松小 3年)
◇優秀賞
藤根常大朗 (大迫小 2年)
茅森蒼太 (山岸小 6年)
◇優良賞
及川大成 (山岸小 6年)
畠山老榎 (本宮小 3年)
◇奨励賞
鈴木直翔 (大新小 3年)
伊藤結愛 (八重畑小 1年)
太齊優人 (黄海小 3年)

- 【中学生の部】**
◇最優秀賞
鈴木 航 (上田中 3年)
◇優秀賞
工藤擢翔 (城西中 2年)
矢作琴葉 (高田第一中 3年)
◇優良賞
菅原絆生 (北上中 3年)



来賓祝辞 県教委生涯学習文化財課総括課長 小澤則幸様

【一般の部】

- 村上暁斗 (高田第一中 3年)
◇奨励賞
鶴嶋祐成 (高田第一中 3年)
佐々木永遠 (高田第一中 3年)
熊谷琉花 (高田第一中 3年)

- ◇最優秀賞
村木由香 (花巻北中 PTA)
◇優秀賞
高屋敷理恵 (河南中 PTA)
晴山春佳 (八重畑小 PTA)
◇優良賞
澁谷玲奈 (岩谷堂小 PTA)
澤口嘉治 (新里小 PTA)
◇奨励賞
阿部山麻里江 (若葉小 PTA)
晴山竜弥 (八重畑小 PTA)



受賞者代表謝辞 岩館智子 前県 P 連会長

ご来賓の岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課総括課長の小澤則幸様(県教育長様の代理)から心温まるご祝辞を頂きました。
最後に、受賞者の皆様を代表して、岩館智子様(前県 P 連会長)からご挨拶を頂きました。これまでの PTA 活動への感謝とこれからの PTA 活動への熱い応援メッセージとなるお話でした。

第45回

岩手県PTA研究大会 宮古大会

期日…令和5年12月9日(土)
場所…宮古市・宮古市民文化会館他



全体会

今年度は隔年開催の岩手県PTA研究大会を宮古市で開催しました。「つながろう！子どもたちの未来のために～生きる力を育む地域の絆～」をテーマに、県内各市町村から683名の仲間が宮古に集まり学びを深めました。



アトラクション

宮古大会に参加して

見前南中 福田育英
(県P連副会長)

第1分科会では、子ども達

た。童話作家の茂市久美子さんによる記念講演、午後の各分科会での基調講演やパネルディスカッションと、短い時間ではありましたが多くの学びを得る機会となりました。大会の内容や様子については、ホームページに掲載している「大会報告書」をどうぞご覧ください。

が様々な仕事を体験できるイベントや野菜の収穫・調理体験イベントをNPO法人・自治会・商店街などが一体となって行うことで地域の良さや自然のありがたみを子ども達に伝えるという地域人材育成エコシステムの事例と、企業の中に職場環境・生活相談窓口を設置するとともに仕事の内容を業務従事者が理解を



第2分科会



第1分科会



第4分科会



第3分科会

しやすくしたことで障がいやハンデをお持ちの方でも働きやすく長期安定雇用につながった事例の2つの講演でした。
岩手県では、コミュニティスクールの導入や学校運営協議会の設置が進められている中、今回のご講演は子ども達の生活環境や教育環境の改善・充実を図るうえでとても参考となるものでした。

第55回

日本PTA東北ブロック研究大会 富谷黒川大会

期日：令和5年10月14日(土)・15日(日)
場所：宮城県富谷市・大和町・大郷町・大衡村 5会場



「東北一心 新たな時代へ一期一笑」未来を切り開け！持続可能な地域づくり・PTAづくり」を大会スローガンに、宮城県4市町村5会場で東北ブロック研究大会が開催されました。

岩手県からも各市町村から69名が参加し、多くの学びとたくさんの方の仲間づくりの2日間となりました。

大会1日目は、パネルディスカッションを中心とした5つの分科会での学びの場となりました。またこの日の夜に、希望者を対象として岩手県からの参加者の夕食会を兼ねた「分科会報告会」を開催し、市町村を越えてのたくさんの方の情報交換と仲間づくりの場となりました。

大会2日目の全体会では、東北ブロックP

第55回 日本PTA東北ブロック研究大会 第72回 宮城県PTA研究大会 富谷黒川大会



TA協議会長表彰に引き続き、元バドミントンオリンピック金メダリストの高橋礼華さんによる記念講演が行われました。

来年度の東北ブロック研究大会は、令和6年9月7日(土)・8日(日)に青森県青森市・平内町で行われます。

東北大会に参加して

初めての東北大会への参加でしたが、非常に学びのある時間となりました。アトラク

ション、第一分科会の講演の内容、ともに行政と地域の密な連携を感じましたし、そこにスピード感も感じられました。

富谷市は「子どもにもやさしいまちづくり実践自治体」として国内で最初に承認されたこともあり、地域の子どものたちと大人のつながりの作り方が非常に上手いというのが第一印象で、コロナ禍で抑圧され閉鎖的な環境から子どもたちを導くのはやはりかっこいい大人たちなのだ改めて感じさせられました。子どもはこの背中を見て育ちます。大会の



テーマが、東北一心 新たな時代へ 一期一笑く未来を切り開け！持続可能な地域づくり・PTAづくり」ということで、まさにこのテーマを体現している取り組みがここ富谷・黒川では行われているのだなと感銘を受けました。元バドミントン選手の高橋



礼華さんの記念講演もアナウンサーの方とのトーク形式で非常に聴きやすく、子どもとの向き合い方や親として出来ることのヒントが取りばめられた貴重な内容でした。一大人として、一親として、まだまだ出来ることが多いのだなと前向きなビジョンにもつながる素晴らしい大会でした。

花巻北中

佐藤淳美

(県P連母親委員)

第2分科会に参加させて頂きました。子供がつまずく瞬間こそが成長の兆しであり、すぐには手を貸さず、自分自身で立ち上ることを見守ることも大事であると、親たちの意識改革が必要だと感じました。又、理解がある子が教える



ることはおせっかいになってしまうこともあり、逆にわからない子が教えてこそ学び合いに繋がっていく。私もついでに手助けや口を出してしまいがちになっている。子供

達だけでなく大人にも言えることだと、考えるいい機会になりました。学校全体で子供たちを支え、共に成長していく姿勢が鮮明に伝わりました。この大会を通じて、教育において協力と理解の大切さを再認識させられる貴重な機会でした。

猪川小 金野貴博

(県P連副会長)

第3分科会「地域連携（協働教育）」へ参加させて頂いた頂きました。基調講演は『地域連携とPTA』とし、地域づくり・社会教育・地域福祉・人権教育等でご尽力されている廣瀬隆人氏でした。

少子化に伴いPTA会員数が減少している現在「昔からのやり方」や「今まで通り」を続けることは難しく大変な事も多く「やらされてる感」やPTA組織自体の批判となっている。PTA役員と会員の負担や不満を軽減、解消できるようなSNSやアプリ等利用したり、作業のスリム化や人員数の削減など時代に合わせて見直ししながら「子ども達のために」保護者も楽しく気軽に活動出来る組織づく



りをしていくことが必要だと強く感じました。パネルディスカッションでは地域との関わりの実践発表をもとに地域の行事や活動が地域コミュニティには欠かせないこと、子どもの健全育成にも必要であること等ディスカッションされました。『良い学校は良い地域にしか存在しない』『地域の良質な大人と子どもを合わせる』が強く心に残りました。それを念頭に置きPTAとして活動し、また卒業後は地域の人の支として支援していきたいと思っています。

上田中 山口真樹

(県P連母親委員長・副会長)

第71回

日本PTA全国研究大会広島大会

期日…令和5年8月25日(金)～26日(土)
場所…広島県広島市・東広島市・福山市・呉市・府中町

大会スローガン「変化の時

代に向け、PTA自身が学びの
変革を！見つけ 考え か
わろうや ぶち楽しいで!!
広島から全国へ」のもと、広
島県内5市町村で開催された
日本PTA全国研究大会につ
いて、前号に続き、大会の様
子を報告します。

第2回は、第1分科会に参加
した、遠野・遠野中PTAの
多田宜史さん(遠野市P連会
長)です。



家庭教育に必要なこと

遠野中学校PTA会長

多田 宜史

今回、最も印象に残ってい
ることがあります。私は第1
分科会「家庭教育」を聞きに
行ったはずでした。しかし、そ
こで私が聞いたのは「地域連
携」でした。つまり、「家庭教
育に必要なことは地域連携」
なのであります。そう言われ
てもピンとこないと思います
ので、具体的に記述します。

大阪府大東市教育委員会で
は、大綱に「すべては家庭教
育にある」と明記し、予算を
付けて徹底的な家庭支援を
行っています。活動は多岐に
わたりますが、今回は3つの
取り組みを紹介いただきます
。まず一つ目は、手挙げ制
の地域ボランティアを募集
し、小学校1年生の家庭を、
要望のあるなしに関わらず全
て訪問する活動です。問題が
起こってから教育委員会に相

談するのではなく、起こる前
に繋がっておくことが大事と
の考えに基づいているとのこ
とでした。二つ目は「育カ
フェ」。これは小学校の空き
教室に保護者を集まってもら
い、自由におしゃべりしても
らう活動ですが、ユニークな
のは地元の民間企業がこれを
運営しているということだ
す。行政が運営するかどうか
でもお堅い活動になりがちで
すが、民間に委託することに
より面白い活動が生まれま
す。市内12の小学校全てに設



置していて、115社が係
わっています。すべて無償
です。企業にとっても人材発
掘につながりますし、長い目
で見れば子供が大人になった
時に就職先として選んでくれ
るかもしれないため、ウィン
ウィンの関係を築くことが出
来ているそうです。三つめは、
講演会を市P連と共催するこ
とによって、保護者の参加率
を上げていました。学びの場
を提供することによって、子
育てに対する意識を高めるこ
とが出来ていました。

以上、今回広島で学んだこ
とのごく一部ですが紹介させ
ていただきました。これ以外
にも数多くの発表者から多数
の事例を拝聴しましたが、そ

のどれもが「保護者を支援す
ることで子供の学習環境を整
える」という内容の事を話し
ていました。冒頭の話に戻り
ますが、今や家庭教育すら地
域が支援する時代なのだと思
いました。「保護者の幸せが
子供の幸せにつながる」とい
う視点は、ますます重要にな
って来よう。私が会長を務
める遠野市PTA連合会でも今
年、子供を直接的に支援する
のではなく、保護者の啓蒙を
通じた子育て支援を重視する
ことを目指すと確認したばか
りでしたし、教育委員会との
連携を更に深めていきたい
と思う。非常に参考になる事
例でした。



全国表彰PTA紹介

祝 優良PTA文部科学大臣表彰

**創立時から
受け継がれてきたPTA活動**
— 関市立弥栄小学校PTA

本校PTAが、長年続けてきた取組を高く評価していただきましたことに對し、関係各位に感謝申し上げます。

創立以来、児童が取り組んできた鶏舞では、PTAと保存会が連携して指導にあたり、継承活動を支えています。

PTA広報部が中心となり続けてきた親子文集は、今年度で第二十二集を数え、子どもたちの大切な思い出となりました。



運動会会場準備への支援



地域リサイクル活動

ています。創立三十周年の際は、地域の方々にも寄稿を依頼し、記念文集を作成いたしました。

その他にも、学校支援として、行事や環境整備にも積極的に協力する等、「自分の母校・地域の学校」という高い意識で、活動しております。

今後、PTAと地域の力を結集し、学校を支えてまいります。(事務局 渡邊 肇)

感謝

紫波町立紫波第三中学校PTA

今回の受賞は、先輩方が学

校、家庭、地域、関係機関と協働した積み重ねが評価されたものであり、それを今日まで引き継いできた私たちが代表していただいた賞であると考えています。主な活動は、地域と協力して行う「朝のあいさつ運動」「地域コミュニケーションの日」「リサイクル活動」、学校と連携して行う「環境整備」と「広報発行」、地域や学校と連携した「親子防

祝

日本PTA全国協議会会長賞

地域一体となつて「繋がる想い」を形に

盛岡市立上田中学校PTA

この度、本校PTAが日本PTA全国協議会会長賞をいただきましたこと、関係各位の皆様へ深く感謝申し上げます。今年度はお祭りイベント等を再開する地域も増え、地域と中学生が一体となった活動が戻り、嬉しく思います。

例年、本校PTAでは、総務広報委員会の「PTA広報」の年2回発行、学校支援委員会の「高校視察訪問」、校外委員会による年3回の地域奉仕活動、図書ボランティアによる書籍整備等の様々な活動を、学校と地域が一つに繋がりながら取り組んでいます。さらに、女子トイレへの生理用品の設置や、選択制給食

「結い」の精神が地域に根付いていることが活動の大きな助けになっていると感じます。そうした意味で関わっていただいたすべての皆さんに感謝申し上げます。(事務局 今川 晋)

災キャンペーン)です。誰もが無理なく気軽に参加できる事業運営が長く続けられた秘訣だと感じています。そして何より「結い」の精神が地域に根付いていることが活動の大きな助けになっていると感じます。そうした意味で関わっていただいたすべての皆さんに感謝申し上げます。(事務局 今川 晋)

ランチボックスの試食会を学年PTA懇親会に取り入れる等、安心や笑顔に溢れる企画で心を繋いでいます。

今後、地域の担い手である中学生たちのために、地域との「繋がる想い」を形にするPTA活動を続けて参ります。(事務局 田村 大樹)



1学年PTA懇親会(ランチボックス試食会)



唐丹海遊び 大石へ行こう!

21世紀を生き抜く唐丹の子どものために!

唐丹小・中学校PTA

この度は、唐丹小・中学校PTAが日本PTA全国協議会会長表彰を授与していただきましたことに對し、関係各位の皆様へ深く感謝申し上げます。

唐丹小・中学校PTAは、会員数の減少に伴い、令和2年度より、小・中合同PTAとして組織し活動しています。

今年度の児童生徒数は、唐丹小52名、唐丹中23名、PTA会員数43名の小規模校ですが、地域の結束が固くチームワークの良さが自慢のPTAです。

今夏、東日本大震災を乗り越え、平成26年から始まった親子行事「唐丹海遊び 大石へ行こう!海水浴&シーカヤック体験会」を4年ぶりに開催しました。今回の受賞を励みに今後も、地域と保護者、学校が連携・協働し、21世紀を生き抜く子どもたちのためにできる活動を進めて参ります。(事務局 志田 清隆)

学び方を学ぶ

住田町立世田米中学校 校長 遠山 秀樹氏

1 はじめに

(1) 本校の紹介

世田米中学校は気仙地区の中でも中山間部に位置し、緑豊かな山々に囲まれています。学区には清流気仙川が流れ、禁漁が解禁されると多くの釣り好きの方々が賑わいます。四季折々の景色を楽しむことができる自然豊かな環境の中にある本校ですが、生徒数は年々減少し現在は57名です。令和6年度からは有住中学校と統合し、住田中学校として開校します。

(2) 研究開発学校の取組

住田町内の小中学校と県立



1年生：地域の専門の方から発表にアドバイスをいただいている場

住田高等学校は、文部科学省より研究開発学校としての指定を受けて、新設教科「地域創造学」を教育課程に位置付けています。その目標は、「住田町及び近郊地域社会をフィールドに、探究的な学習を通して、新しい時代を切り拓き、社会を創造していくための社会的実践力を身に付けた心豊かな人材の育成」です。生徒たちは、住田町が抱える人口減や一層の魅力化をどう図っていくべきか等の課題に対し、自ら探究テーマを設定して課題解決学習に取り組んでいます。学習過程では、自己の学習計画に応じて校外に出向き、その道の専門家や地域の方々に聞き取り調査を行ったり、ご指導をいただきながら体験してみたりと様々です。最終的には、住田町の将来について理由や根拠を示しながら提言として発表会を行います。その場には、ご指導いただいた専門家の方々、保護者の皆様が参観に来校されます。

学習指導要領では、学校と社会が「よりよい社会を創る」という目標を共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子ども達に育む「社会に開かれた教育課程」の実現を目指しています。地域創造学は町内の方々と連携・協働によって支えられた学びであり、私としては地域の方々への感謝とともに住田町のよさを感じているところです。

2 学び方を学ぶ

過去には、「何を理解しているか」に重きが置かれ、当時は「詰め込み教育」と呼ばれました。いかにして量を覚えるかが重要視された時代がありました。しかし、1989年以降は理解した知識やできるようになった技能を他の場面等で「どう使うか」、「使えることができるか」という学びが重要視されています。この「どう使うか」は、各教科でも指導されていますが、色濃い学びになっているのが「総合的な学習の時間（以下、総合的時間）」です。総合的時間では、「課題を設定→情報の収集→整理・分類→まとめ・表現」という探究的な学習を進めていきます。子ども達自らが設定した課題を身に付けた知識等を総動員しながら課題解決を目指し、自分の

生き方を考える学びにもなっています。現在、高等学校では、小中学校での学びを更に深化させた「総合的な探究の時間」となり、各校の特色ある学びとしてユニークなネーミングも聞かれています。高田高校「T×A×C×T×I×O×N」、一関一高「高志探究」等。住田町内各校の地域創造学は、総合的時間を更に深化させた学びとして研究開発する上で、学び方を学ぶことも目標の一つとなっています。しかし、これが難しい。本校の生徒の学習の様子を見ていると、全体的には試行錯誤しながら探究的な学習を楽しんでいます。特に楽しみ、有意義な学びとなるポイントは、町内の現状について多角的な視点から課題を見出し、課題の設定が自分事になっているかどうかだと思えます。提言の場面でも、相手を意識し、自分の言葉でわかりやすい発表をしていますし、何より説得力があります。プロセスのどの段階も大切ですが、課題設定の段階が探究の肝のように感じています。

3 おわりに

今後の教育の動向を考えると、OECDのラーニング・コンパス（学びの羅針盤）が子ども達の学びに影響を与え

るのではないのでしょうか。ラーニング・コンパスは、生徒が教師の指導や指示をそのまま受け入れるのではなく、未知なる環境の中を自力で歩みを進め、責任をもって進むべき方向を自分で見出すことの大切さを強調するために採用された呼び名です。地域社会の問題に留まらず何気ない家庭での「なぜだろう？」という対話が起点となって学校での学びとなり、「そうか!」という新たな発見、気づきにつながったりもします。学び方を学ぶためには、上手いかわからない経験も貴重ではないかと考えます。学校の役割は「教える」から「伴走する」というイメージです。伴走には我慢も必要です。今後とも家庭・地域の方々のご協力を得ながら子ども達のみよき伴走者になれるよう努めていきます。

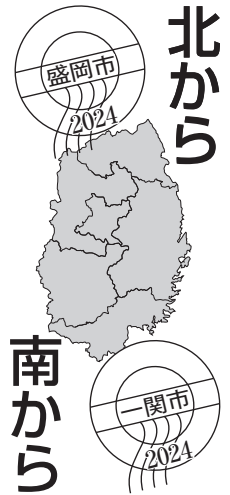
プロフィール

遠山 秀樹
(とやま ひでき)

水沢市立南中学校をスタートに、学校現場、県立総合教育センター、一関一高附属中学校、県教育委員会事務局に勤務。令和5年度より現職。



特色あるPTA



新たなPTA活動の在り方を探る

盛岡市立向中野小学校PTA

本校は、近年の盛南開発による人口増加に伴い、本宮小、仙北小、飯岡小の一部を学区として十二年前に開校いたしました。三度の増築を経て、現在九〇五名と県内一の児童数となっております。郷土の偉人・原敬の「宝積」の教え、開校時からの地域・家庭との連携による学校支援は、本校の特色でもあります。

今年度のPTAは、三年間制限されていた活動を再開するにあたり、価値を見直し精選を図りながら新しいPTA活動の在り方を探ってまいりました。重点とした三つを紹介いたします。



家庭教育学級「ウォーキングをしながら学校給食センター見学と試食会（大人数の給食づくりを体験）」



図書修理研修会（実演講習と実技研修）

行事の様子を紹介しました。教養部では、同じく学区内に新設された給食センターの見学・試食会を含めた家庭教育学級を実施。また、スマホ等に関する問題について広報で情報提供、啓発を行いました。

【活動の継承】図書ボランティアの図書修理の技術を継承していくために、県立図書館に講師を依頼し、「図書修理研修会」を行いました。

【活動の精選】総会、評議員会の紙面開催、プール当番・

地域とともに

一 関市立花泉中学校PTA

岩手県の最南端に位置する本校は、花泉町内唯一の中学校です。

コロナ禍以前は、三つの専門部による環境整備や学校行事の援助、会報の発行、学年親子レク、各地区の行事等、様々なPTA活動が盛んに行われていました。このような活動を通して、学校、家庭、地域の交流が図られてきました。しかし、この三年間は多くの活動が中止となり、その交流が途絶えました。

「人と人とのつながりの機会が必要」、「ウィズコロナの

講習会の中止、PTA行事、各種集計作業の削減により、保護者の多忙化・負担感、教職員の働き方改革への対策を講じました。

今後の活動方針を「活動の整理と充実を図り、無理なくつながりを楽しみながら、実りある活動に」とし、不易流行を意識しつつ子どもたちの笑顔につながる活動を進めていきたいと考えております。

（事務局 小山奈美子）

新たな活動の在り方を考えるべき」等の反省を踏まえ、保護者や地域住民の全面的な協力のもと、今年度から多くの活動を再開しました。

特にも地区民運動会では、「中学生の運営協力が有難かった」、「子供達に元気をもらった」等、各地区から感謝の声が多く寄せられました。

また、二年生は、町内の沢山の事業所の協力を得て職場体験学習を実施しました。生徒は、行事や体験活動への参加を通して、故郷花泉町の良さに改めて気づきました。



地区民運動会



スポーツセンター整備

地域社会における人々のつながりが希薄化している状況の中、PTA活動はその課題解決に大きな役割を果たすものと考えます。今後も、学校、家庭、地域が支え合い、一体となってPTA活動を推進していきたいと思っております。

（事務局 小原幸尊）

市町村 PTA 連合会紹介

県内の各市町村 PTA 連合会では、様々な活動をしています。今回は、久慈市 PTA 連合会・岩手町 PTA 連合会・金ヶ崎町 PTA 連絡協議会、3つの地区の活動の一端を紹介します。

久慈市 PTA 連合会

久慈市の子どもたちの健やかな成長を願って

久慈市 PTA 連合会は、活動目標に「明るく、やさしく、たくましい子どもを育てる PTA 活動の推進」を掲げ、小中学校21校で活動をしています。

今日、インターネットと子どもたちのかかわり方は喫緊の課題です。そこで連合会では3年ぶりに「インターネット安全・安心委員会」の活動を本格的に行いました。今年度は四つの班に分かれ、班ごとに実態を把握し、来年度取り組む活動を班内で共有しました。複数校でアイデアを出し合うことで実践案に厚みを持たせることができました。

12月に開催された「久慈市 PTA 連合会研究大会」では、班の来年度構想が発表され、さらに公認心理師小鹿和男氏をお招きし、脳に与える影響を中心に依存症の脅威についてお話しいただきました。

今年度の活動が、来年度効果的に実践され、子どもたちの健全育成につながるよう取り組んでまいります。
(事務局 高橋健一)



岩手町 PTA 連合会

いわてまちの未来を担う子どもたちのために

岩手町 PTA 連合会は、3地区6小中学校の PTA 会員約630名で構成されています。主な活動として、毎年4月に新入児童生徒に交通安全グッズを贈呈し、子どもたちの安全を守る活動を推進しております。11月には実践交流会を開催し、各校の実践事例から学ぶ活動を行っております。また、各研修会に積極的に参加し、情報交換する中で会員のスキルアップを図っています。

令和10年度に町内3中学校は1校に統合されます。また、会員数の減少が見込まれる中、事業や関連団体との連携について見直し、持続可能な会の在り方を模索するとともに、岩手町の子どもたちの健やかな成長を願い、各校 PTA の連携に努めて参ります。

(事務局 志賀 誠)



金ヶ崎町 PTA 連絡協議会

未来を担う金ヶ崎町の子どもたちのために

金ヶ崎町 PTA 連絡協議会は、幼稚園3園、小学校5校、中学校1校の PTA 会員約1100名で構成されています。中心的な事業は、秋に開催する「教育講演会」ですが、新型コロナウイルスの影響により、ここ3年間は実施できておりませんでした。

今年度は、岩泉町立岩泉小学校の吉田浩規校長先生を講師に、『子どもやる気を引き出す言葉かけのスキル PEP TALK』という演題で講演していただきました。私たち大人が、どのような視点で子どもたちの行動を捉え、どんな言葉かけをしていけば、子どもたちのやる気を引き出すことができるのかということ、わかりやすく教えていただきました。参加した会員からは、「とても参考になった。」という感想が数多く寄せられ、大変好評でした。

今後、未来を担う金ヶ崎町の子どもたちのために、単位 PTA 会員相互の交流を深めながら取り組んでいきたいと思っております。

(事務局 鈴木 克哉)



これまでのPTA活動に感謝

今年度末をもって、閉校・統合する学校は5校です。これまで地域と共に子供たちのためにPTA活動を行ってきていただいたことに、心より敬意と感謝を申し上げます。閉校・統合となる学校のPTAに対しまして、岩手県PTAより感謝状を贈呈させていただきます。

- 【奥州市】 黒石小学校 → 姉体小学校へ
胆沢愛宕小学校 → 若柳小学校へ
- 【山田町】 船越小学校 → 山田小学校へ
- 【住田町】 世田米中学校 } → 新設『住田中学校』へ
有住中学校 }



令和6年度の主な事業 (予定)

- ◇ 地区・市町村 PTA 事務局長会議 (5/10)
- ◇ PTA 広報コンクール審査会 (5/21)
※応募締切 5/10
- ◇ 定時社員総会 (6/8)
- ◇ 岩手県 PTA リーダー研修会 (7/6)
- ◇ 三行詩コンクール審査会 (7/9)
※応募締切 6/14
- ◇ 共済事業担当者事務説明会 (8/6)
- ◇ 日本 PTA 全国研究大会 (神奈川県川崎市) (8/23~24)
- ◇ 東北ブロック研究大会 (青森県青森市他) (9/7~8)
- ◇ 和賀地区家庭教育セミナー (10/5)
- ◇ 久慈地区家庭教育セミナー (11月予定)
- ◇ 日本 PTA 年次表彰式 (11/15)
- ◇ 岩手県 PTA 連合会年次表彰式 (11/30)
- ◇ 臨時社員総会 (3/1)

この他に、理事会 (4回)、正・副会長会議 (8回)、監査 (2回)、専門委員会 (1回)、母親委員会 (4回)、共済金審査委員会 (3回) 等が予定されています。

編集後記

ご寄稿をいただいた、日頃市小 PTA、弥栄小 PTA、紫波三中 PTA、上田中 PTA、唐丹小中 PTA、向中野小 PTA、花泉中 PTA、久慈市 P 連、岩手町 P 連、金ヶ崎町 P 連、そして住田町立世田米中学校の遠山秀樹校長先生に心より感謝申し上げます。お忙しいところ本当にありがとうございました。

今年度予定されていた全国・東北・岩手県の研究大会や各種研修会等も、予定通りに実施することが出来ました。当たり前のことが当たり前に出来るのが幸せなことであることを実感した1年でした。

来年度の予定は上記の通りとなっています。岩手県の研究大会は隔年開催のため、来年度は準備期間となりますが、全国研究大会は神奈川県川崎市で、東北ブロック研究大会は青森県青森市他で開催されます。岩手県リーダー研修会や和賀地区・久慈地区での家庭教育セミナーも開催します。多くの会員の皆さまに参加していただき、大きな学びとたくさんの仲間づくりが出来ることを願っています。